常磐病院
地域連携だより

りぃふ Leaf

2026年8月31日発行

TOKIWAKAI GROUP
Jyoban Hospital

Vol.97

https://www.tokiwa.or.jp/leaf/ August 2026 TAKE FREE

泌尿器科

Urologist Dr.Ayane Tachiki

立木 綾音医師



皆さん、よろしくお願いします！

今月は、泌尿器科医の立木綾音（たちき あやね）医師をご紹介します。

Q よろしくお願いします。この春、常勤医として着任されましたが、常磐病院の印象はいかがですか？

もともと非常勤として月2回ほど当院で診療をおこなっておりましたので、アットホームで温かい雰囲気が素晴らしいと感じており、「ぜひここで常勤として働きたい」と思っておりました。

実際に着任してみて、多職種間の連携やコミュニケーションが非常に取りやすく、気軽に相談ができる恵まれた環境だと実感しています。また、病院の規模感がコンパクトだからこそ意思決定や対応のレスポンスが早く、一人ひとりの患者様としっかり向き合える点も当院の大きな強みだと感じます。救急医療をはじめ、地域医療の充実に対しても非常に力を入れているという強い印象を持っています。



Q 立木先生が医師を目指されたきっかけや、現在の診療科を専門に選ばれた理由についてお聞かせください。

実は高校3年生まで将来の夢が明確にあったわけではなく、進路に悩んでいた時期がありました。そのような中、泌尿器科医である父から「医師という道はどうか」と勧められたのが最初のきっかけです。

実際に進学し学びを深めていく中で、この仕事が自分の性分にとても合っていると感じるようになりました。患者様の人生や生活の重要な場面に深く関わる職業であり、責任の大きさと同時に大きなやりがいを感じています。日々多くの経験を重ねながら成長できる点も、医師という職業の魅力です。

泌尿器科を選んだ理由につきましては、父の影響に加え、もともと外科系に関心があったことがあります。消化器外科や整形外科なども選択肢として考えましたが、泌尿器科は対象とする疾患の幅が非常に広い点に魅力を感じました。がん診療をはじめ、排尿障害や尿路結石の治療、さらに前職の東京女子医科大学では移植医療など、幅広い領域で多様な経験を積むことができます。

また、将来的に結婚や子育てといったライフイベントを迎えた際にも、知識や経験の幅を広く持っておくことで、柔軟な働き方を選択しながら長く医師として貢献し続けられると考えたことも、この科を選んだ理由の一つです。

（↖裏面へ続く）



今月は、2026年度から泌尿器科医として着任した立木綾音（たちき あやね）医師をご紹介します。

PROFILE

令和3年3月	東京女子医科大学 医学部 卒業
令和3年4月	東京臨海病院 初期研修医
令和5年4月	東京女子医科大学 泌尿器科
令和6年4月	戸田中央総合病院 泌尿器科
令和8年4月	ときわ会常磐病院

Q 先生が得意とされている診療領域について教えて下さい

まだまだ「これ専門です」と一言で言い切るのは恐縮なのですが、もともと尿路結石の治療や、透析導入のためのバスキュラーアクセス（シャント作成など）に深い関心があり、前任地でも力を入れて取り組んでまいりました。常磐病院に着任してからは、執刀や手術に携わる機会がさらに増えております。今後も最新の技術や知識を貪欲に吸収しながら、診療の幅をいっそう広げていきたいと考えております。

Q 先生が診療の際に心がけていることはなんですか？

たとえ同じ疾患であったとしても、患者様の年齢やライフスタイル、ご家族の状況や背景によって、最適な医療の選択肢は一人ひとり異なると感じております。そのため、何よりもコミュニケーションを大切にし、単に「病気」を診るだけでなく、「その患者様にとって何が最も望ましい治療か」を常に意識しながら診療にあたっています。

Q プライベートに関する質問なのですが、先生のご趣味はなんでしょう？　休日は何をされていらっしゃいますか？

趣味は長年続けているバイオリンで、週末に時間を見つけて演奏するのが良いリフレッシュになっています。また、いわき市に赴任してからはランニングをはじめました。いずれは地元の「いわきサンシャインマラソン」にも挑戦したいと思っています。

Q 最後になりますがいわき市の関係医療機関の先生方にメッセージをお願いします。

先生方からご紹介いただいた患者様につきましては、迅速かつ精緻な検査・治療（精査加療）をおこなうことを第一に心がけてまいります。

また、私自身が女性医師であることも活かし、デリケートなお悩みを抱える女性患者様にも寄り添った診療をおこなってまいりたいと思っております。受診をためらわれる女性患者様も少なくありませんので、そうした方々にも「安心して相談できる場」を提供できればと思っております。今後ともご指導・ご連携のほど、よろしくお願い申し上げます。



TOPIX 01

地域の皆さまと夏の思い出に―
第45回 いわきおどりに参加

8月8日、いわき市の夏の伝統行事である「いわき踊り」に、ときわ会グループとして参加いたしました。

当日はグループ各施設のスタッフが一丸となり、威勢のよい掛け声とともに元気よく踊りを披露。沿道で温かいご声をかけてくださった地域の皆様のおかげで、会場全体が熱気と笑顔に包まれ、大変素晴らしい時間を共有することができました。



日頃より支えてくださっている地域の皆様との繋がりを改めて実感する、大変貴重な機会となりました。今後ともときわ会グループは、医療・福祉・教育を通じて地域社会に貢献できるよう努めてまいります。沿道より温かいご声援を送ってくださった皆様、ならびに開催にあたりご尽力いただきました関係者の皆様に心より御礼申し上げます。

TOPIX 02

10名の小中学生が参加
第6回 親子で手術室を体験しよう！

8月11日に「常磐病院」で、第6回目となる「親子で手術室を体験しよう!」を開催しました。



「体験を通じて、医師や看護師、臨床工学技士の仕事に興味を持ち、近い将来いわきの医療現場で活躍してほしい」―そんな願いを込めて毎年開催している本イベント。今年は福島県内から10組の親子をお迎えしました。

「縫合体験」や「シミュレーター体験」をはじめ、最新の手術支援ロボット「ダヴィンチの操作体験」、そして「VRでの手術室体験」と、医療の最前線をリアルに体感できるプログラムをご用意。

参加された親御さんからも「ダヴィンチを実際に操作できて感動した」「リアルな体験で親も一緒に楽しめた」といった感想をいただきました。未来の医療を担う子どもたちの真剣なまなざしに応えられるよう、常磐病院はこれからも地域と医療をつなぐ活動に力を注いでまいります。



公益財団法人ときわ会 常磐病院（院長 新村浩明）
地域医療連携課
窓口受付/毎週月曜日～金曜日　8:30～17:00
〒972-8322 福島県いわき市常磐上湯長谷町上ノ台57番地
TEL:0246-81-5522 / FAX:0246-81-5577

ときわ会常磐病院では、診療科の増加に伴い診察可能な疾患も増えました。
患者様のご紹介に関しまして、今後もお気軽にお問い合せくださいますようよろしくお願いします。